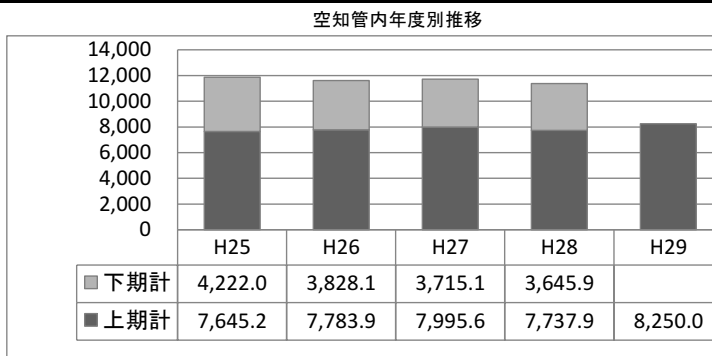


平成29年度(上期)空知総合振興局管内における観光入込客数調査結果の概要

平成30年1月10日
空知総合振興局商工労働観光課
※調査対象期間は、H29. 4月～9月です。

1. 平成29年度上期管内観光入込客数

平成29年度上期の管内観光入込客数は、8,250,000人となり、前年同期の7,737,900人から、512,100人(6.6%)増加した。



(単位:千人)

項目	H25	H26	H27	H28	H28上期	H29上期	対前年同期増減	構成比
入込客数	11,867.2	11,612.0	11,710.7	11,383.8	7,737.9	8,250.0	512.1	-
うち道外客	896.4	816.3	822.4	758.0	514.8	724.6	209.8	8.8%
うち道内客	10,970.8	10,795.7	10,888.3	10,625.8	7,223.1	7,525.4	302.3	91.2%
うち日帰り客	11,364.0	11,136.3	11,216.8	10,901.5	7,425.2	7,958.2	533.0	96.5%
うち宿泊客	503.2	475.7	493.9	482.3	312.7	291.8	▲ 20.9	3.5%
全道シェア	9.00%	8.70%	8.32%	8.07%	8.57%			
全道入込客数	131,788.0	133,406.4	140,790.6	140,992.7	90,315.3	-	-	

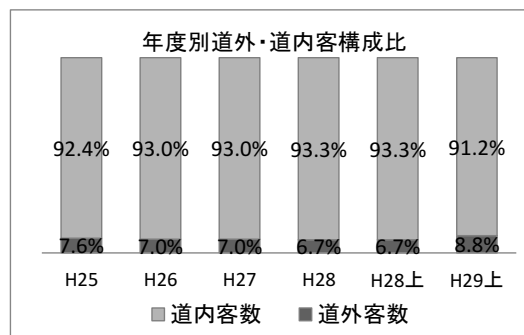
※H29上期全道分は集計中

(1) 道外・道内客数別

道外客数は、724,600人で、前年同期と比べて、209,800人(40.8%)増加した。

道内客数は7,525,400人で前年同期と比べて、302,300人(4.2%)増加した。

構成比で見ると、道外客数は8.8%、道内客数は91.2%となっており、道内客が主体となっている。

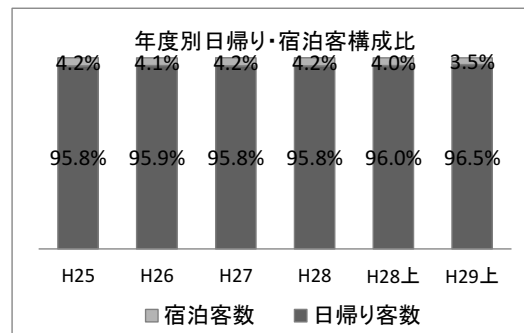


(2) 日帰り・宿泊客数別

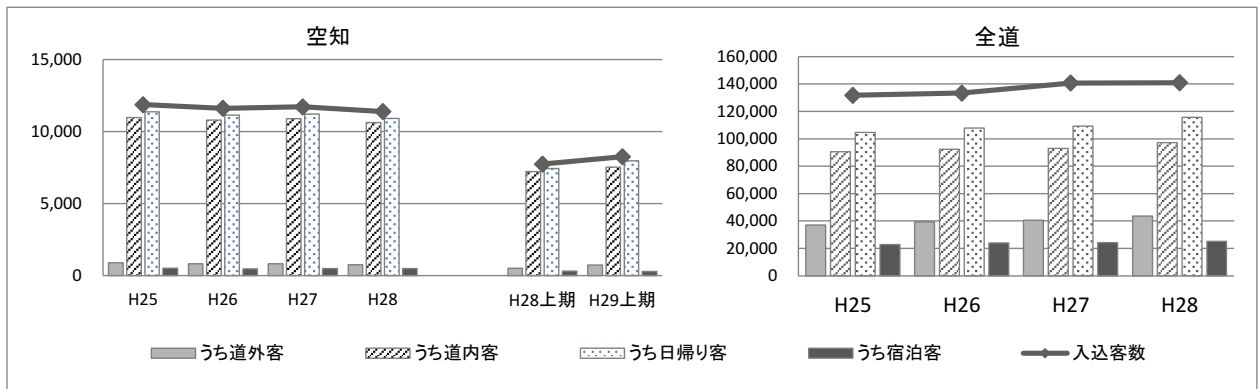
日帰り客数は、7,958,200人で前年同期と比べて、533,000人(7.2%)増加した。

宿泊客数は、291,800人で、前年同期と比べて、20,900人(6.7%)減少した。

構成比で見ると、日帰り客数は96.5%、宿泊客数は3.5%となっており、日帰り客が主体となっている。



2. まとめ



※H29上期全道分は集計中

- 29年度上期の管内の観光入込客数は、前年同期と比べると6.6%増加した。
- 観光入込客数が増加した要因として、新たな施設のオープンや既存施設のリニューアルオープンが多かったことや、比較的天候に恵まれたことがあげられる。

3. 参考

観光入込客数上位3市町

	市町名	入込客数(千人)	増減率 (対前年同期)	主な増減理由
1	砂川市	989.5	127.2%	「砂川ハイウェイオアシス館」がリニューアルとなり産直市場や新しいレストランがオープンしたことにより、20万人以上の大幅な入込増となり、その他の観光施設も微増ないし平年並みを維持したことが増加要因としてあげられる。
2	三笠市	844.5	125.1%	土日が天候に恵まれたことや、「道の駅みかさ」のリニューアルオープンとビジネスホテル「HOTEL TAIKO」がオープンしたことが増加要因とあげられる。
3	岩見沢市	838.0	93.5%	観光ハイシーズンに猛暑日が多く客足が遠のいたことや、クマ出没により「いわみざわ公園」が一部閉鎖となったこと、「ふるさと百餅まつり」が雨天のため1日間中止になったことが減少要因としてあげられる。